

神奈川県議会議員

うめざわ裕之 県政レポート 第23号

発行所
神奈川県議会議員
梅沢裕之事務所
〒221-0822
横浜市神奈川区西神奈川2-5-18
TEL/045-413-9008
FAX/045-413-9003



平成30年度第3回定例会 前期（9月12日～10月16日）報告

相次ぐ自然災害 求められる防災体制強化

神奈川県議会は、平成30年第3回定例会前期を10月16日に閉会しました。今定例会では、総額5億5,500万円の2018年度一般会計補正予算案を始めとする計22議案を可決・同意しました。

意見書案では「『医療的ケア児』の保護者を総合的に支援する取組の充実を求める意見書」、「豪雨に対する防災対策の更なる推進を求める意見書」、「障がい者雇用率の算定等について適正な見直しを求める意見書」、「地方消費者行政の充実・強化を求める意見書」などが可決されました。

去る9月6日、最大震度7の地震が北海道を襲いました。

大規模な山崩れや液状化、また道内の広範囲にわたるブロッコリーストンプする等の大きな被害が報告されています。

振り返れば、第2回定例会開催中には、大阪府北部を震源とする震度6弱の地震が発生し、この地震では小学校のブロック塀倒壊により通学途中の女子児童が命を落とすという、大変痛ましい事故がありました。

この事故を受けて、本県内でもコンクリートブロック塀の点検・改修工事を進めており必要となる予算3億1千万円を今定例会で可決しました。

また、今年台風の上陸数が観測史上最多を記録しましたが、本県でも大きな被害がありました。

まず、7月の台風12号では、水産業に約1億円、9月の台風24号では主に塩害により農業関係に約5億円の被害を受けました。

「災害に強いかながわ」を目指して

自然災害は人的被害のみならず経済的な被害も非常に多額になります。県としても少しでもその被害を減らすためには、関係機関と実効性のある連携体制を築くことが何より重要です。

台風24号の警戒態勢の中では、気象警報発表時の県の初動体制に課題があることが明らかになり、県は気候変動適応センターを速やかに整備していくことを決めました。

県議会では、今後とも更に「災害に強いかながわ」を目指して、防災体制の強化に向けた有効な施策を展開して参ります。

台風24号の風による被害



風で損傷したキャベツ（三浦市）

破損した平塚漁港の共同荷捌き所（平塚市）

平成30年度・4月～8月の議会活動他

第2階定例会開催＝平成30年5月15日～7月11日

◇新所属委員会決まる

◆国際文化観光・スポーツ常任委員会

2019年ラグビーワールドカップ、また2020年オリンピック・パラリンピック開催への準備とともに、関連する国際文化観光の分野での充実も図り、万全の態勢で臨んで参ります。

◆決算特別委員会

予算が有効に使われているか、広い視野と深い視点でしっかり調査検討し、今後の予算編成及び政策遂行に役立てよう審議して参ります。

◇可決された議案・意見書

◆一般会計補正予算案

◆暴力団排除条例改正案＝事務所開設等の区域を拡大

◆学校周辺に存在する危険なブロック塀等の安全対策を求める意見書＝大阪北部地震を受けて

◇代表質問から

◆自転車による重大な交通事故発生を受け、自転車の適正利用と損害賠償保険加入義務化を柱とした条例制定の必要性を指摘。今年度中の制定に向けて検討するとの知事答弁を得ました。

団体ヒヤリング＝平成30年7月12・13・17・18日

市町村ヒヤリング＝平成30年8月1・2日

各業界・自治体の抱える課題や実情、また要望等を直接聞くことで現状を把握し、今後の施策に役立てて参ります。87の業界団体、16市、13町、1村から要望・意見を伺いました。

障がい者雇用施策、適正な見直しが必要

障がい者の雇用数を中央省庁が誤って報告していたことが8月、判明しました。全国の自治体でも誤りがあることがわかり、神奈川県でも同様の結果となりました。

雇用率の正確な把握は、障がい者雇用施策の根幹をなすことを踏まえると、専門家や障がい者の意見をよく聞き、検証を行ったうえで適正な見直しを急ぐ必要があります。

政策を立案する際の調査、検討、改善という一連の流れに滞りが生じてはなりません。国においても、急ピッチで検討作業が進められているところですが、障がい者雇用施策をしっかりと改善するよう努めて参ります。

決算特別委員会 県内視察報告

平成30年10月17日、決算特別委員会では、3施設を視察して参りました。

- 未病バレービオトピア
- 足柄上合同庁舎
- 県総合リハビリテーションセンター



未病バレー “ビオトピア”

「人生百年」といわれる今、未病の予防・改善は世を超えた大きな課題です。このほど、神奈川県が取り組む「未病」の改善をテーマにした体験型の施設が、足柄上郡大井町にオープンしました。

「BIO…いのち耀く社会を実現する癒し UTOPIA…未病の取組を実現する理想的な里」を意味する施設「未病バレー BiOTOP!A」は、平成26年3月に策定した「県政地域活性化プロジェクト」に基づき、平成29年6月から平成30年3月にかけて整備し、同年4月下旬にオープンを迎えました。

当施設では、自然の恵みが集まる「食」、身体を整える「運動」、五感を開放する「癒し」をコンセプトに、楽しみながらライフスタイルを見直し未病を知ること改善につながる体験ができます。特に施設内の「me-byo エクスプラザ」には、自身の運動能力を試したり、バランスのとれた食生活を学べる体験コーナーが複数設けられており、未病改善の相談も受けられます。

県を代表する観光地である箱根に程近く、東名高速道路の大井松田ICからすぐという立地条件にも恵まれた当施設は、オープン当初の



自分が歩く姿勢を撮影し確かめることができる。気付かないかも!?

目標入場者数（年間6万人）を大きく上回り、10月1日現在約12万人が訪れています。「未病改善」の概念を県民に広く理解してもらうための優れた施設であると言えます。

これからも県民の健康増進に向けた施策の展開に力を注いでいきたいと思ひます。



BiOTOP!A

me-byo valley

南北に約3km、東京ドーム13個分に当たる広大な敷地には3つのウォーキングコースが設けられ、多くの種類の樹木や草花が楽しみ、富士山、箱根、丹沢から相模湾などの眺めを堪能しながらウォーキングが体験できます。

【B!マルシェ】

様々な体験コーナーを備えたme-byo エクスプラザや地元特産品を扱う売店、健康的な食事が楽しめるレストランも。



me-byo エクスプラザ

地元特産品



和食レストラン



フレンチカフェレストラン



森のみち
ショートコース
ミドルコース
ロングコース

【オフィス棟】

未病に関するベンチャー企業が集結する。業種・世代を超えた新たな可能性を探る場に。

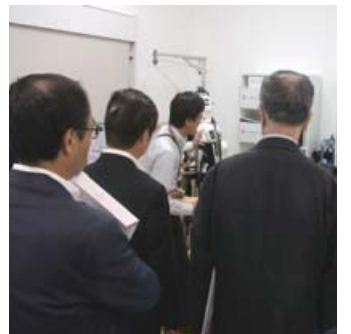
神奈川県総合リハビリテーションセンター

神奈川県総合リハビリテーションセンターは、昭和48年に厚木市七沢に開設され、医療と福祉を一体となり総合的に一貫したリハビリテーションの提供を担ってきました。

開設以来40年以上が経過し、施設老朽化への対応とともに医療・福祉のサービス機能強化が必要となり、リハビリテーションの拠点施設である同センターの病院棟及び福祉棟の新築工事を実施しました。福祉棟は平成28年3月、病院棟は29年8月に完成、順次運営が開始されています。

「人生百年」時代を考えたとき、医療と福祉それぞれの充実に加え、相互間の連携が需要を役割を持つことは、言うまでもありません。最新の医療設備の充実、利用者に親切で安全な設計であること、医療と福祉がハード、ソフト両面から手を結んでいること等を、確認することができた実り多い調査となりました。

(写真上)リハビリテーション器具の説明を受ける (下) 神奈川リハビリテーション病院の全景



足柄上合同庁舎

足柄上合同庁舎は昭和47年に建設され、県西地域の8つの行政機関が入庁しているほか、同地域の振興や災害時の対策本部の役割を持つ、重要な位置づけの施設です。近年老朽化が著しく、耐震性の低さも指摘されたため平成26年に新築工事が決定、同30年1月に完成し2月から使用が開始されています。

東名高速道路の大井松田ICに近く、また鉄道2線が交差する、まさに県西地域の要に位置する同庁舎。今回の新築を機に、同地域の拠点としてますます力を発揮するよう注視して参ります。

* KANAGAWA TOPICS * KANAGAWA TOPICS * KANAGAWA TOPICS * KANAGAWA TOPICS *

特殊詐欺被害 非常事態宣言!

「オレオレ詐欺」や還付金詐欺を始めとする振り込み詐欺の被害は、警察、自治体、金融機関等が一丸となって防止に取り組んでいるものの、拡大の一途をたどっています。県内54の警察署中、神奈川県警察署管内の被害額が、ワーストワンを記録してしまい、まさに非常事態と言えます。

最近では、直接家を訪れて犯行に及ぶケースやがきや文書による架空請求詐欺など、新手法のものも登場しています。

- ◇「お金に絡む話」は詐欺と思う
- ◇お金・カード類は絶対渡さない
- ◇警察、金融機関を名乗っても、すぐに信用しない
- ◇怪しいと思ったらすぐに警察へくれぐれも被害に遭いませんよう、ご注意ください。

県のアンテナショップ ぞごう横浜店B2に



神奈川県の特産品を販売する県のアンテナショップ「かながわ屋」は、2004年に中区山下町のシルクセンタービル内に開業しました。近年は、来店者数や売り上げの低迷が問題となり、「かながわ屋」のあり方について神奈川県議会第2回定例会の代表質問でも取り上げ、てこ入れの必要性を指摘していました。

このほど、装いも新たに横浜駅東口の「ぞごう横浜店」地下2階に移転し、7月10日から営業を再開しています。移転前と比較すると、地の利も得て、2倍以上の売り上げを記録しました。今後、ますます県内外に親しまれ、来客数・売上が増加が期待されます。